

組付要領書及び部品表

Takakita

ワインレーキ用
電動ロック解除アタッチ

TR-D1

適用機種

TR3880

TR4580

TR5580



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この組付要領書は、**ツインレーキ用電動アタッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはツインレーキ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。



危

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
電動アタッチの組付	3
運転に必要な装置の取扱い	5
1. コントロールボックスの取扱い	5
2. アームの開閉について	6
不 調 診 断	8
配 線 図	9

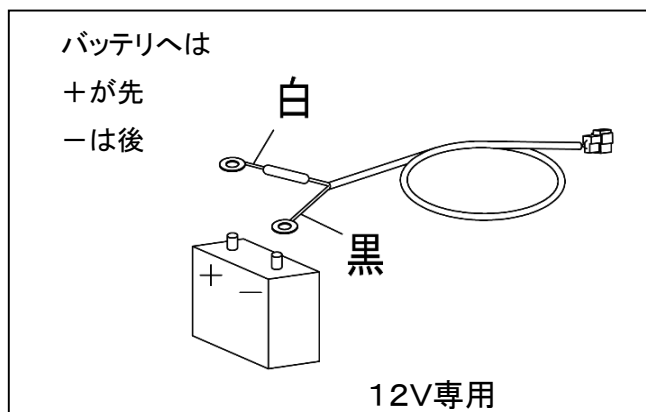
⚠ 安全に作業するために

◆電源はトラクタのバッテリーから

コントロールボックスの電源は、トラクタのバッテリーより取り出します。

◆接続できるバッテリーの電圧は12V

電源は12Vのバッテリーに接続してください。24Vのバッテリーに接続すると、コントロールボックス内部および電気系統が破損するおそれがあります。



◆(+)、(-)の接続を間違えないように

白色線はバッテリーの(+)へ接続
 黒色線はバッテリーの(-)へ接続

注意

(+)、(-)の接続を間違えると、コントロールボックスの電源が入りません。

⚠ 警告

バッテリーへの接続順序は、(+)側から行ってください。また、取り外すときは、(-)側から行ってください。

逆にすると、火花が飛び危険です。

◆コントロールボックスの取り付け

コントロールボックス裏側には吸盤を装着しています。操作しやすいように、トラクタのウインドウなどに吸着させ取り付けてください。このとき吸着面が汚れていると、吸盤がはがれやすくなりますので、汚れを拭き取ってから取り付けてください。

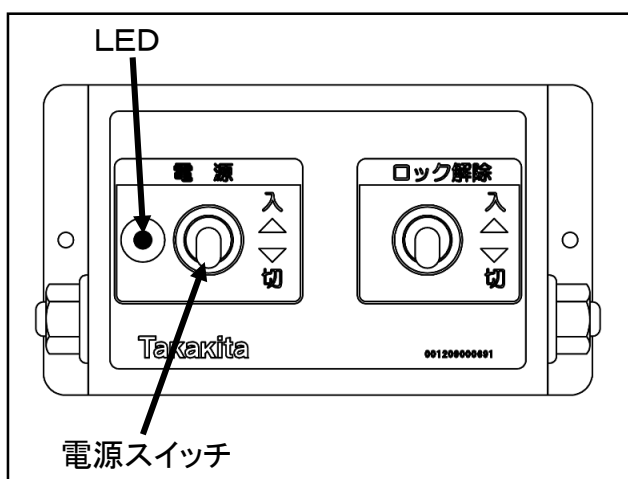
◆配線の接続

電源コードとメインハーネスをそれぞれコントロールボックスに接続します。配線が作業の邪魔にならないように、トラクタに固定してください。

◆電源スイッチを入れる

配線の接続が終了したら、電源を入れLEDが点灯していることを確認してください。LEDが点灯しないときは、電源コードのヒューズ(30A)が切れていないか、バッテリーの(+)と(-)が逆になっていないか、コネクタがきちんと挿し込まれているかを確認してください。

(コントロールボックスのヒューズは15A)



 安全に作業するために

◆作業終了後は取り外して屋内に保管

作業終了後、電源スイッチを切り、コントロールボックスは接続しているコネクタから取り外し、水等がかからない屋内にて保管してください。

 警告

取り扱いの前にツインレーキ本体の取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。

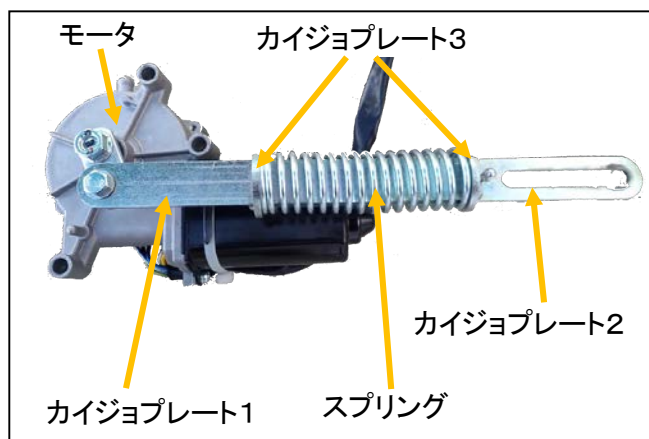
電動アタッ치의組付け

このたびはツインレーキ用電動アタッチをお買い上げいただき、ありがとうございます。
組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

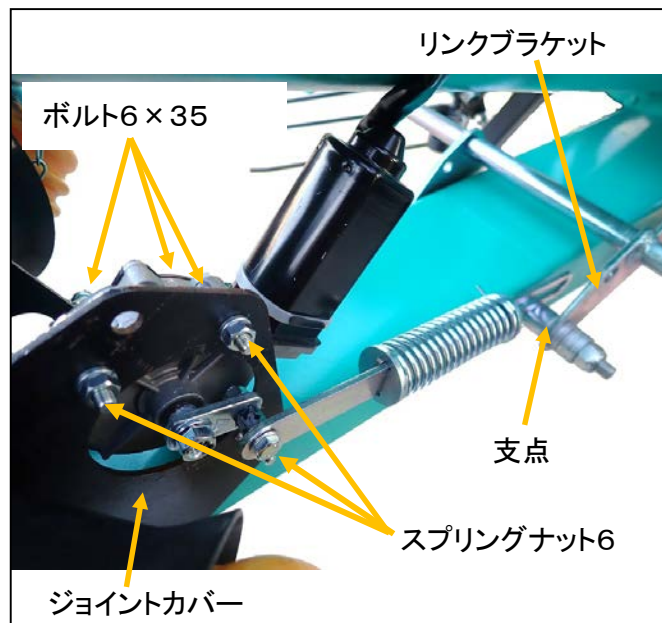
- 開梱されましたら、組付前に部品表の部品が全て含まれているかご確認のうえ、組付けを行ってください。

◆組付け手順

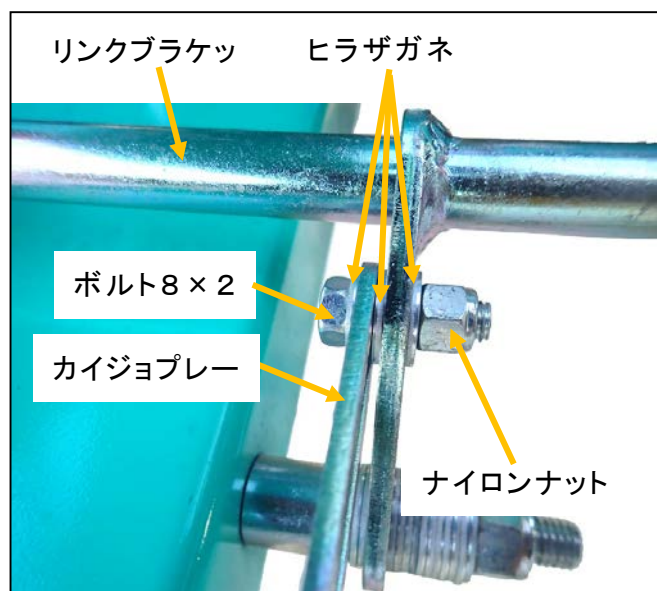
- [1] 次図のようにモータにカイジョプレート類が組付けられていることを確認してください。



- [2] ジョイントカバーとモータをボルト・ナットで固定してください。
このときカイジョプレートリンクブラケットの支点の上になるように置いてください。



- [3] カイジョプレートとリンクブラケットをボルト・ナイロンナット・ヒラザガネで緩く固定してください。方法としてはナイロンナットを軽く締めていき、ナイロンナットが回らなくなったところから半回転ほど緩めてください。このとき手でナイロンナットとボルトが動くことを確認してください。

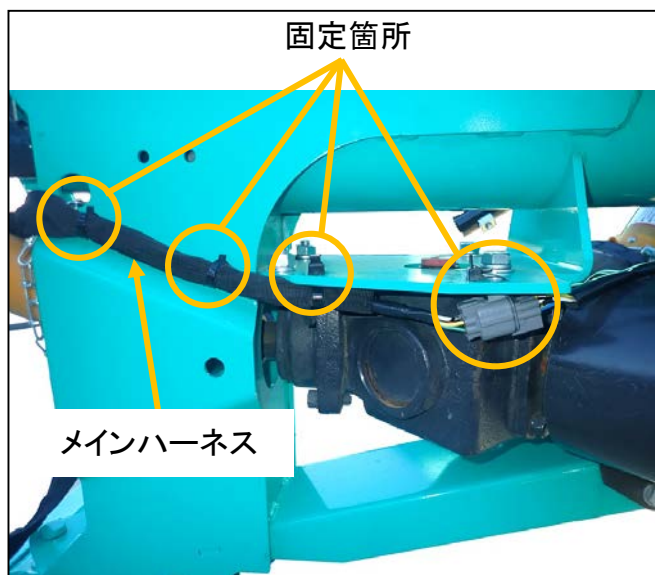


電動アタッの組付け

- [4] モータの配線をリピータイでジョイントカバーに固定してください。



- [5] モータのコネクタとメインハーネスのコネクタを接続し、リピータイでフレームに配線を固定してください。



コネクタ接続部は下図の丸枠内の隙間にリピータイを通してフレームに固定してください。

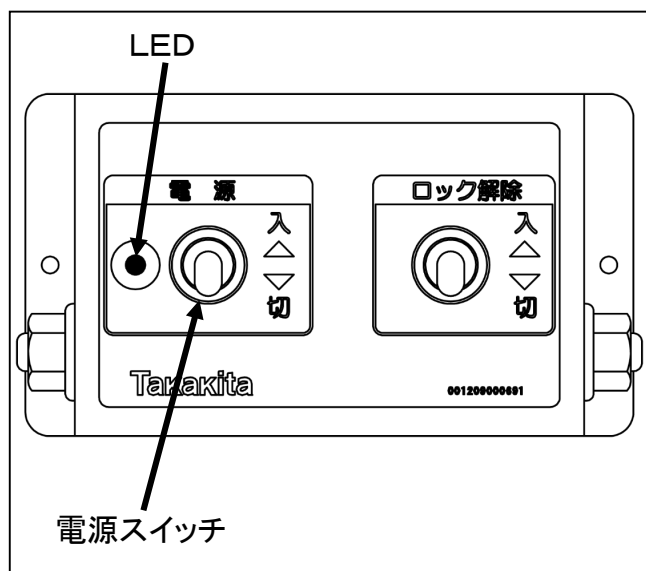


- [6] メインハーネスをトラクタ内に引き込んでください。

注意

配線をマスト部に固定しないでください。マスト部はスイングするため配線が断線する可能性があります。

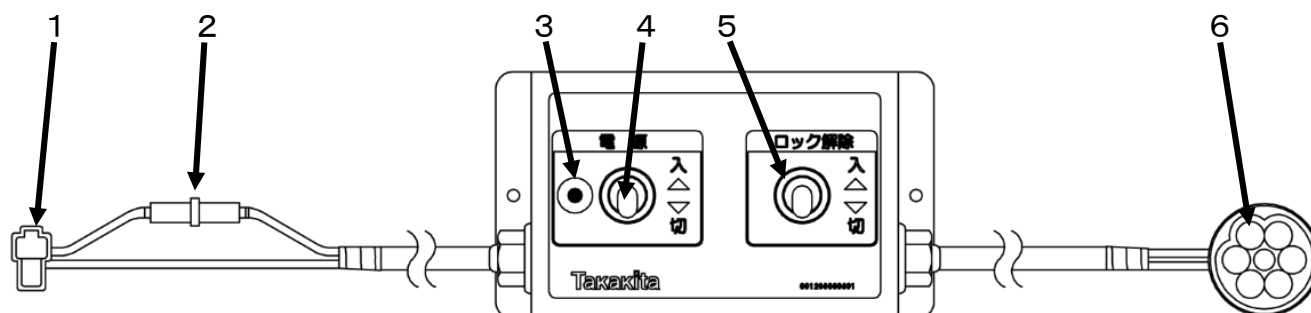
- [7] トラクタ内にコントロールボックスを設置し、トラクタ側の電源コードとメインハーネスをP. 9の配線図を参考にしてコントロールボックスに接続してください。その後コントロールボックスの電源スイッチを入れLEDが点灯することを確認してください。



運転に必要な装置の取扱い

1. コントロールボックスの取扱い

◆コントロールボックス各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
1	電源コネクタ	・電源の供給を受けます。付属の電源コードを使用し、トラクタの12Vバッテリーに接続してください。
2	ヒューズ	・異常に高い電流が流れたとき、コントロールボックスを保護します。(管ヒューズ15A)
3	電源LED	電源スイッチが「入」のとき点灯します。
4	電源スイッチ	スイッチを上げると電源が入り、下げると電源が切れます。
5	ロック解除スイッチ	スイッチを上げている間アームのロックが解除されます。スイッチを放すと自動的にスイッチが下がり、アームがロックされるようになります。
6	作業機コネクタ	モータの出力を行います。作業機側のメインハーネスと接続してください。

運転に必要な装置の取扱い

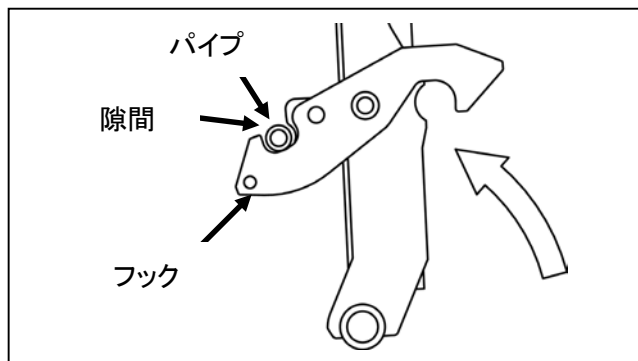
2. アームの開閉について

トラクタの油圧を操作して、アームを開閉します。

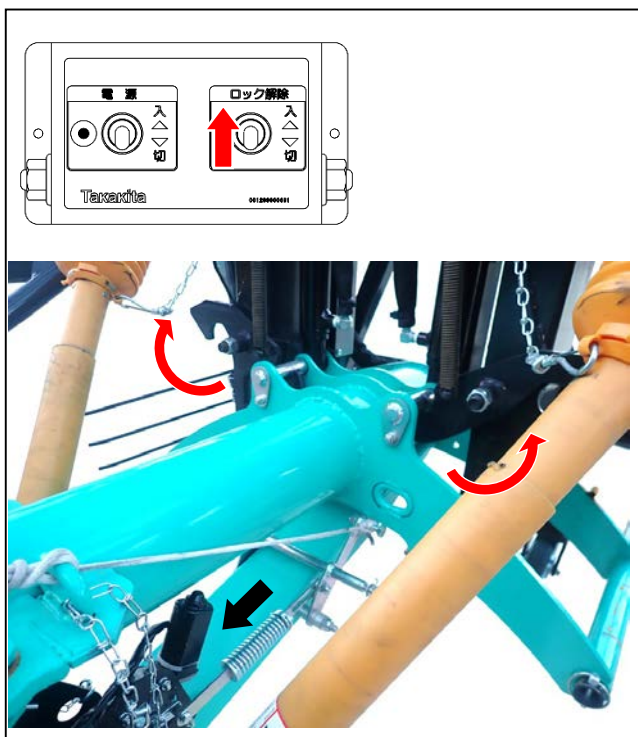
アームの開閉は、スタンドを必ず収納した状態で行ってください。

◆開くとき

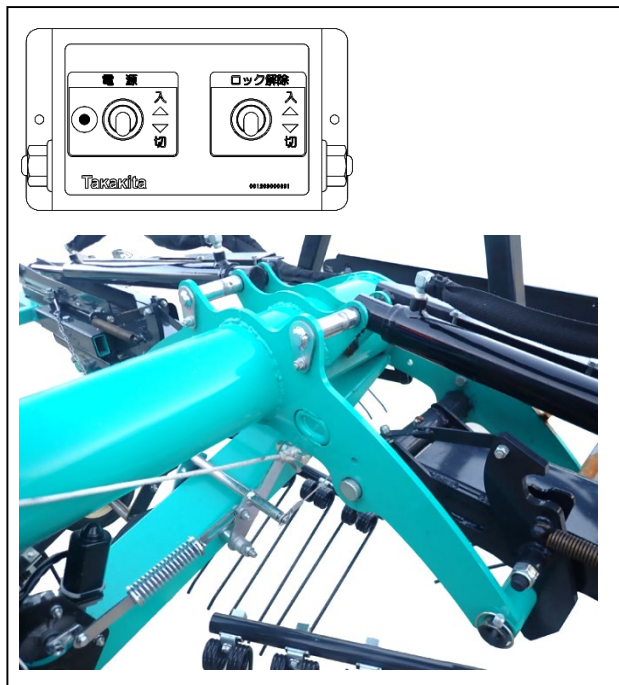
- ①トラクタの3点リンケージを操作し機体を持ち上げ、開いたときにタイヤが地面を擦らないようにしてください。
- ②油圧を操作してアームを収納側に少し動かし、フックとパイプの間に隙間をつくります。



- ③ロック解除スイッチを上げてロックを解除し、油圧を操作してアームを開いてください。

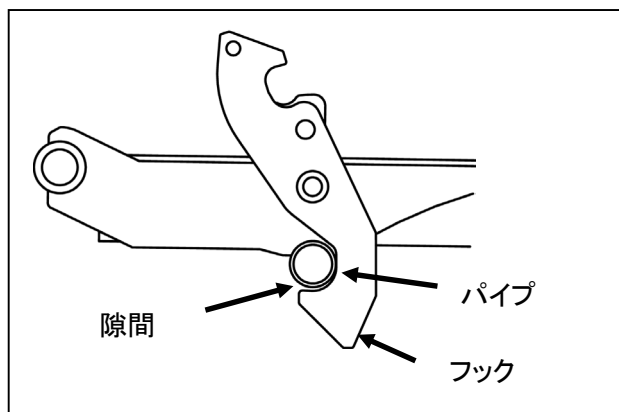


- ④両側のアームが動き出したらロック解除スイッチを放してください。
- ⑤アームが開ききったらロックが掛かっていることを確認してください。(油圧操作のみではアームが閉じない状態)



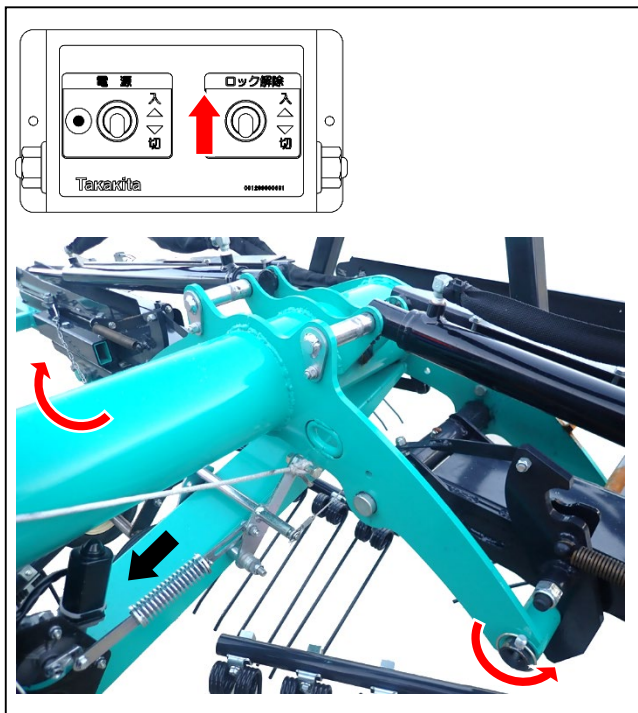
◆閉じるとき

- ①トラクタの3点リンケージを操作し機体を持ち上げ、タイヤが地面に擦らないようにしてください。
- ②油圧を操作してアームを開き側に少し動かし、フックとパイプの間に隙間をつくります。

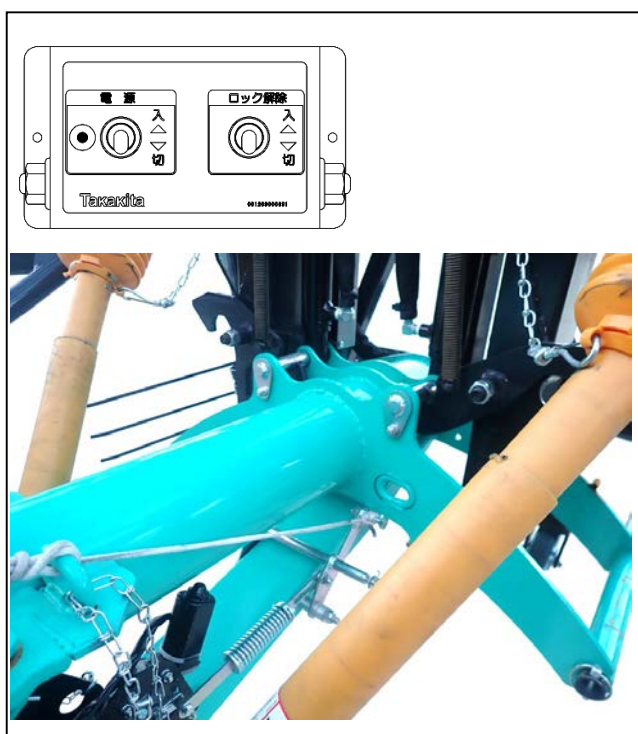


運転に必要な装置の取扱い

- ③ ロック解除スイッチを上げてロックを解除し、油圧を操作してアームを閉じてください。



- ④ 両側のアームが動き出したらロック解除スイッチを放してください。
- ⑤ アームが閉じきったらロックが掛かっていることを確認してください。（油圧操作のみではアームが開かない状態）



警告

- ① アームを開閉する場合は、周りに人がいないことを確認してから操作してください。
- ② アームの開閉後は必ずロックがかかっていることを確認してください。
- これを怠ると傷害発生のおそれがあります。

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ペ ー ジ
●コントロールボックスの 電源が入らない	●ヒューズが切れている	●ヒューズを交換する 電源コード(カプセル内)30A コントロールボックス 15A	1 5
●ロックが解除されない	●コントロールボックスの 電源が入っていない	●電源が「入」になっているか 確認する	5
	●モータが回転していない	●各コネクタが接続されているか 確認する	9
		●解除位置までモータが動いて いるか確認する	9
	●アーム開閉の操作に誤り がある	●アームの開閉操作の方法を 確認する	6

配線図

No	線色	名称
1	白	12V
2	黒	アース
3	赤	ロック位置
4	緑	解除位置
5	白	モータ正転
6	黄	モータ逆転
7	黒	入力用アース

